

札幌学院大学 コミュニティ カレッジ



SAPPORO
GAKUIN
UNIVERSITY

COMMUNITY COLLEGE

2019年度 後期講座のご案内

特別企画

1. 今どきのヒグマ事情～ヒトとの距離感が変わってきた
山本 牧

一般講座

2. 大学は面白い！
河西 邦人
3. 少数言語の未来：ニヴフ語とアイヌ語
白石 英才 岸本 宜久
4. 近世ヨーロッパ歴史上の人物たち
倉田 稔
5. ト라우マからの回復～児童虐待、災害、事故による心の後遺症～
村澤 和多里 菊池 浩光
6. 20世紀、形と色からの解放
守分 美佳
7. 「人生」と「幸福」についての心理と病理
安岡 譽
8. アレクサンドロス大王の時代
奥谷 浩一
9. 「意識とは何か・・・心理学者、ところをさぐる」
室橋 春光 葛西 俊治 村澤 和多里
10. 現代特別支援教育論の射程
～ひきこもりく8050問題>とく生きる力>形成の課題
二通 諭 大橋 伸和 田中 敦
11. 臨床死生学／絵本・童話を通して「関係の命」を学ぶ
品川 博二
12. 『来年の世界経済の展望とマネープランへの影響』
白根 壽晴

市民セミナー

13. フットパスを知ろう！歩こう！
小川 浩一郎
14. デジタル一眼レフ写真講座～中上級編～
浅野 久男
15. もしも病気になったら～シニア世代の知っておきたい制度の話～
石田 潔

——— 受講のお申し込み方法については
13～14ページをご覧ください ———

主催 ◆ 札幌学院大学社会連携センター
後援 ◆ 北海道教育委員会・札幌市教育委員会
提携 ◆ 道民カレッジ・えべつ市民カレッジ

COMMUNITY COLLEGE

ごあいさつ

札幌学院大学コミュニティ・カレッジ 20周年のお礼

札幌学院大学コミュニティ・カレッジのパンフレットをお手に取っていただき、誠にありがとうございます。また、日頃より、本学の教育・研究並びに生涯学習のためのコミュニティ・カレッジの運営にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。お陰さまでコミュニティ・カレッジは2019年度に20周年となる節目の年を迎えました。

この20年間に受講していただきました方々はのべ29,374名、開講講座数はのべ1,087講座に達しております。2003年に放送された韓国ドラマによる韓流ブームの際には、韓国の歴史や文化を紹介する講座やハングル講座を開講致しました。また、この時期、パソコンをはじめとしたIT機器を多世代で利用するようになり、パソコン講座やインターネットを利用した講座も開講致しました。2008年に始まる世界経済・金融危機、そしていま訪れようとしている人生百年時代に関連して、マネープランや資産運用に関する講座を現在も開講しております。2018年には、心理学から豊かな人生を考えるための「心理学部開設記念講座」を、また「学び」の原点に目を向ける前学長の鶴丸俊明などによる「大学は面白い！」という講座も開講致しました。

今年度前期は、コミュニティ・カレッジ20周年を記念し、座学とバスによる現地学習を組み合わせた講座「100年で人口100倍！北海道の推進力《炭鉄港》」を開講し、炭鉱遺産群を実際に訪ね、「既に起きた未来」の現場から人口減少社会を考えることが出来ました。

後期は、新学長河西邦人による「大学は面白い」の他、身近で起きているヒグマとの遭遇から野性動物と人間の共生を考える特別企画「今どきのヒグマ事情～ヒトとの距離感が変わってきた」、心理学部による心のなぞを考察する講座「意識とは何か」といったタイムリーな講座で皆さまのニーズに応えてまいります。

皆様の人生が素晴らしいものとなる一助となるべく、この学びの場が活用されることを願っております。コミュニティ・カレッジをより一層面白くするためのご意見も大いに歓迎しております。

本学は地域に欠かせない大学となるべく、札幌学院大学教職員一同、今後とも精進して参りますので、ご指導とご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

コミュニティ・カレッジ

2000年 札幌学院大学アクティブセンター（札幌市中央区）にて誕生・開講

2002年 札幌学院大学社会連携センター（札幌市中央区大通西6丁目）で開講

2018年 札幌学院大学社会連携センター（江別市文京台）で開講

2021年 新札幌キャンパス（札幌市厚別区）にて開講予定

本学は新札幌キャンパスにおいては、コミュニティ・カレッジも含む多世代及び多文化の交流を基礎とする地域と連携した新たな教育を展開する予定でおります。ご利用の皆様には開講場所の変更にご不便をおかけしておりますが、何卒ご理解いただき、益々のご利用とご支援をよろしくお願い申し上げます。

札幌学院大学社会連携センター長 吉川哲生

特別企画

講座番号

1

今どきのヒグマ事情～ヒトとの距離感が変わってきた

定員 / 50名

受講料 / 無料(全2回)

ヒグマとヒトとの距離感がこれまでになく変化してきています。緩衝帯の役目を果たしていた農山村の衰退や熟練狩猟者の減少などを背景に、生息数が回復し、人を怖れない個体が増えて、畑荒らしや市街地への接近が相次いでいます。野幌森林公園などへの出現は、「野生の再進出」傾向の延長線上にあります。講座ではヒグマの食性や行動、生活史など基本的な生態を解説し、その上で、現代のヒグマと人間社会に何が起きているのか、今後どんな対策が必要かを考えます。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	原因編～人間社会の変化をヒグマは学習し順応している 10月8日(火) 午後 13:00～15:00	ヒグマとはどんな生き物か1 草食に偏った食性や繁殖・冬眠などの生活史と雑食ゆえの高度な学習能力と柔軟性に富んだ行動について説明します。その上で、この30年でヒグマの行動が大きく変わったことについて説明します。何がヒグマの行動を変えたのかを考えてみます。
2	対策編～ヒグマの変化に人間はどう対処したらいいか 10月8日(火) 午後 15:10～17:10	ヒグマとはどんな生き物か2 人間はヒグマにどう対処したらいいのでしょうか。地球レベルの進化史から考えてみたいと思います。併せて、今まさに直面している問題への対処の仕方、すなわち遭遇時の対応とヒグマ事故の分析・予防策、市街地への接近対策等について紹介します。

講師 / ヒグマの会副会長 山本 牧

講師紹介

山本 牧(やまもと まき) 1955年福井県生まれ。北海道大学大学院農学研究科中退。専攻は森林動物学(ヒグマ)。1981年、北海道新聞入社。社会部次長、編集委員など。2009年退社し、NPO 法人もりねっと北海道入り。活動テーマは「森と人をつなぐ」。現在代表。ヒグマの会副会長。著書に『知床からの出発』『ヒグマとつきあう』など。



一般講座

講座番号

2

大学は面白い！

定員 / 50名

受講料 / 無料(全1回)

日本社会は少子高齢化、人口減少、急激な国際化、人間関係の変容など、多くの変化に見舞われ、多様で複雑な社会問題を生じさせています。そのような時代を背景に、札幌学院大学はどのような大学を目指し、社会へ貢献していくべきでしょうか。

「大学は面白い」という講座は、大学(学びや研究)の面白さを知っていただくと同時に、受講者の方々から忌憚のないご意見をいただき、社会における大学の役割を考える講座にしたいと考えます。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	札幌学院大学の社会貢献戦略 10月1日(火) 午後 13:30~15:30	人口減少、経済の縮小、社会の複雑化が避けられない日本、大学教育は何を目指し、大学教育はどう社会課題解決へ貢献しうのでしょうか。札幌学院大学はその答えをオープン型教育によるアクションラーニングに求め、実践します。

講師 / 札幌学院大学学長 河西 邦人

講師紹介

河西 邦人(かわにしくにひと) 1960年生まれ。早稲田大学大学院商学研究科修了後、外資系金融機関へ勤務するものの、バブル崩壊で退職。その後、青山学院大学大学院経営学研究科博士後期課程へ入学し、満期退学後の1997年に札幌学院大学商学部専任講師として採用される。札幌学院大学では22年間、商学部、経営学部において経営学関連科目を担当する。



大人のキャンパスツアー
のご案内

- ◆日 程 10月1日(火) 11:00~11:40
- ◆集合場所 札幌学院大学 1号館2階
社会連携センター
- ◆昼 食 キャンパスツアーの終点は
札幌学院大学G館6階の学生食堂です。

※ガイドは、コミュニティカレッジスタッフが担当します。

お申込不要

講座番号

3

少数言語の未来:ニヴフ語とアイヌ語

定員 / 50名

受講料 / 3,000円(全3回)

日本列島の北部を含む北東アジアには、アイヌやニヴフをはじめとした多くの民族が居住し、多様な言語・文化が継承されてきました。しかし、社会が急激に変化するなかで、これらの民族の言語は急速に失われようとしています。それだけではありません。今のペースで世界の言語が「消滅」し続けると、100年後には世界の言語の9割が失われるという試算もあります。英語や中国語といった「大言語」のみで世界中の人が会話できる世界は、はたしてバラ色の未来なのか。本講座ではニヴフ語とアイヌ語の現状を共有しつつ、グループワークも織り交ぜながら全員で考えたいと思います。

回	テーマ / 講座日	内容
1	危機言語としてのニヴフ語 10月4日(金) 午後 13:30~15:30	ニヴフ人はサハリン、アムール地方の先住民族です。かつて間宮林蔵が大陸に渡る際、土地のニヴフの助力を得ました。ニヴフ語は話者を急速に減らしていますが、その復権・復興を目指す近年の動きを紹介します。 講師 / 札幌学院大学経済学部教授 白石 英才
2	危機言語としてのアイヌ語 10月11日(金) 午後 13:30~15:30	アイヌ語は北海道、サハリン、千島列島などで主にアイヌの人々によって話されてきました。しかし、現在は深刻な危機言語として言語の継承・再活性化が大きな課題となっています。アイヌ語の現状と、近年の再活性化の取り組みについて紹介します。 講師 / 札幌学院大学経営学部講師 岸本 宜久
3	少数言語の未来 10月18日(金) 午後 13:30~15:30	ニヴフ語やアイヌ語といった少数言語の今後について、グループワークを通じて参加者全員で考えます。 講師 / 白石 英才、岸本 宜久

講師紹介

白石 英才(しらいし ひでとし) 1974年生まれ。2006年、フローニンゲン大学(オランダ)にてPh.D.(言語学)を取得。札幌学院大学教授。著書『Topics in Nivkh Phonology』等。
岸本 宜久(きしもと よしひさ) 1989年生まれ。2019年、北海道大学大学院文学研究科にて博士(文学)を取得。札幌学院大学専任講師。論文「アイヌ語の複雑述語の研究(学位論文)」等。

講座番号

4

近世ヨーロッパ歴史上の人物たち

定員 / 50名

受講料 / 3,000円(全3回)

ハプスブルク家のマクシミリアン1世の時代から、その子フィリップ美公、そしてその子カール5世までの系譜をたどり、ヨーロッパの近世最大問題を見る。その際、イタリア問題があり、最も重大なメディチ家を仲介させて見る。ハプスブルク対フランスの戦い、プロテスタンティズム、オスマン・トルコへの対処、大航海時代の幕開けが考察される。

回	テーマ / 講座日	内容
1	マクシミリアン1世(神聖ローマ帝国皇帝)の時代の人々 11月1日(金) 午後 13:30~15:30	マクシミリアン1世とブルゴーニュ公女の婚約、フランスのシャルル8世との戦い、結婚と子供たちとマリアの死、フィリップとマルガレーテのスペイン王家との結婚、スペイン王子の死と、フアナが女王になる。
2	メディチ家の人々、その前期 11月8日(金) 午後 13:30~15:30	メディチ家の興り、コジモ・ディ・メディチ、その孫ロレンツォ・ディ・メディチ、そしてルネッサンスの興り、シャルル8世によるメディチ家追放。
3	カール5世(神聖ローマ帝国皇帝)時代の人々 11月15日(金) 午後 13:30~15:30	大航海時代の開始、フィリップ美公の死、カール5世の登場、イタリア問題の戦いと解決、プロテスタンティズムの勃興、オスマン・トルコとの争い、東方の帝国を得るハプスブルク家。弟フェルディナント1世の神聖ローマ帝国皇帝継承。

講師 / 元札幌学院大学教授 小樽商科大学名誉教授 倉田 稔

講師紹介

倉田 稔(くらた みのる) 1941年生まれ。慶応義塾大学大学院経済学研究科博士課程修了。小樽商科大学名誉教授、元札幌学院大学特別専任教授。アムステルダム研究所留学 ウィーン大学留学 オーストリア抵抗研留学。北大、藤女子大、東北大などでも教える。著書に「金融資本論の成立」「ハプスブルク歴史物語」など多数。経済学博士(慶大)。

講座番号

5

トラウマからの回復 — 児童虐待、災害、事故による心の後遺症 —

定員 / 50名

受講料 / 3,000円(全3回)

記憶に新しい東日本大震災は、日本人の多くに深い悲しみと心の傷をもたらしました。北海道では、昨年の厚真、安平、鶴川をおそった地震からいまだに立ち直ったとは言い切れません。また近年、児童虐待に関わる事件は頻発しており、それにとまなう心の傷のケアも喫緊の課題となっております。この連続講座では、私たちがいま直面している事態に対して、「トラウマ(=心の傷)」という視点から考えたいと思っています。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	心の傷「トラウマ」 11月22日(金) 午後 13:30~15:30	近年、トラウマ(心の傷)からの回復について関心がたかまっています。背景には、児童虐待件数の増加や、多発する事故や災害があります。第1回目の講義では、「トラウマ」とは何か、その概要をお話しします。 講師 / 札幌学院大学心理学部教授 村澤 和多里
2	事故、災害時のトラウマと心のケア 11月29日(金) 午後 13:30~15:30	災害や事故、事件が起きるとトラウマを生じてしまうことがあります。そのときどんな症状があらわれ、どのようにケアをすればいいのでしょうか?第2回目の講義では、その歴史にも触れて、心のケアについて考えたいと思います。 講師 / 札幌学院大学心理学部教授 菊池 浩光
3	児童虐待のトラウマと心のケア 12月13日(金) 午後 13:30~15:30	児童虐待が増加する中で、虐待の被害者である子どもたちの心のケアは喫緊の課題となっています。第3回目は、虐待が心に与えるトラウマについて学び、そのような子どもたちの心のケアに必要なアプローチについて学びます。 講師 / 村澤 和多里

※ 12月6日は休講

講師紹介

村澤 和多里(むらさわ わたり) 1970年三重県生まれ。北海道大学大学院博士課程満期退学。博士(教育学)、公認心理師・臨床心理士。ひきこもりの若者の支援、児童養護施設での臨床支援を研究している。2011年度より現職。著書に「中井久夫との対話」(共著)「ポストモダニズム時代の若者たち」(共著)など。

菊池 浩光(きくち ひろみつ) 1959年愛媛県生まれ。北海道大学大学院教育学院教育学専攻博士課程修了。博士(教育学)。公認心理師・臨床心理士。事故や災害時におけるトラウマティック・ストレスとその心のケアのあり方を研究している。著書に「心身症の絶食療法」(共著)がある。

講座番号

6

20世紀、形と色からの解放

定員 / 50名

受講料 / 3,000円(全3回)

20世紀初頭、美術界に大きな波が訪れました。「素朴派」、「キュビズム」、「フォービズム」そして「抽象主義」…。パリに集まった世界中の芸術家たちによって、それまで絵画を構成してきた「形や色」が自由に解放されていきました。この講座では時代背景を探りながら、作品を鑑賞する手がかりを考えていきます。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	異色の画家 アンリ・ルソー 10月19日(土) 午前 10:00~12:00	宙に浮いた花嫁、かわいくない子供、熱帯のジャングル…。彼の絵は、当時の美術界に激しい論議を呼び起こしました。中でも一番衝撃をうけたのはピカソでした。
2	ピカソは天才? 10月26日(土) 午前 10:00~12:00	生涯最も多作な美術家としてギネスブックに記されている芸術家パブロ・ピカソ。その作品群はめまぐるしく変貌を遂げ続けました。時代背景とともにピカソの苦悩とその心の変化を考えます。
3	「ヘタ」な絵も魅力的 11月2日(土) 午前 10:00~12:00	「キュビズム」、「フォービズム」そして「抽象主義」…。形や色、そして全てが解放される時代へ。そんな絵画の魅力について考えます。

講師 / 画家 美術講師 守分 美佳

講師紹介

守分 美佳(もりわけ みか) 北海道教育大学特設美術課程卒業。札幌を中心に中学・高校・大学などで美術教育に携わる。作家として個展を開催する傍ら、本の装幀(かもがわ出版、透土社など)、演奏会・舞台などの広告デザイン、CDジャケットデザイン、店舗ロゴデザインなどの制作も手がける。

講座番号

7

**【こころの臨床心理学講座】
「人生」と「幸福」についての心理と病理
—現代の「人生論」と「幸福論」—**

定員／50名

受講料／4,000円(全4回)

激しく変化する現代社会の中で、私たちは現在も未来も不確かになんか見えぬことで不安な生き方を強いられています。現代人は、「幸せな生き方」さえ見失って余裕のない人生を送っています。そうした時代だからこそ、一度立ち止まって、「人としての幸福とは何か」、「人生をどう生きるべきか」についてしっかりと考えてみる価値がありましょう。今回は、皆さまとこの人類の最大のこころの課題について理解を深めてまいりたいと思います。

回	テーマ／講座日	内 容
1	「人生論」序説 —人生の意味— 10月24日(木) 午後 13:30~15:30	古来より、「人生(人が生きること)」について、多くの哲学者、思想家、宗教家などが、「死生観」、「道徳観」、「宗教観」などの「人生哲学」ともいうべきかたちで論じてきました。人生の意味を問うことが中心でした。それらをふり返り、現代人にとって今こそ「人生論」がなぜ必要とされる時代なのかについて考えてまいります。
2	「幸福論」序説 —幸福と不幸— 10月31日(木) 午後 13:30~15:30	人の「人生を幸せに生きたい」という願いは、「幸福な生活を追求する」という人間の心の共通の働きに基づいています。しかし、人生は幸福よりも不幸なことが起きやすいのが現実です。過去の諸家の「幸福論」を参考にしつつ、現代人にとっての「幸福論」について考えてまいります。
3	現代の「人生論」と現代の「幸福論」 11月7日(木) 午後 13:30~15:30	現代は混迷の時代に入っており、人類は「迷える子羊」のようになり、時代の荒波に漂流しています。したがって、今こそ私たちが熟考して新たな適切な「人生論」と「幸福論」を創造することが迫られています。その内容はどうかあるべきか、私見を含めて考えてまいります。
4	幸福な人生を送るには、 どうしたらよいか?(まとめ) 11月14日(木) 午後 13:30~15:30	「幸福」と「不幸」は硬貨の表裏の関係で、しかも、人の心の主観によって決定されるところがあります。人生の「意味」もそこ関係しています。人が幸福になれるよう努力して、有意義な人生を送るための「コツ」を中心に先達の知恵を参考に具体的に考えてまいります。

講師／元・札幌学院大学大学院臨床心理学研究科教授 安岡 譽

講師
紹介

安岡 譽(やすおか ほまれ) 1944年生まれ。札幌医科大学大学院医学研究科修了(医学博士)。札幌医科大学神経精神科講師、福岡大学講師、札幌佐藤病院副院長、札幌学院大学大学院教授を歴任。共著に、『精神分析を学ぶ』『青年期の精神病理と治療』『精神科症例集』『非行少年』『精神分析事典』『ひきこもる心のケア』など多数。統合失調症や手首自傷(リストカット)、うつ病の研究など多彩であるが、最近の研究テーマは、「こころの本質に関する研究」。現在、北海道大学大学院教育学院臨床心理学講座非常勤講師、札幌国際大学人文学部心理学科非常勤講師、北海道精神療法精神分析アカデミー協会会長。精神科医、精神保健指定医、精神分析医、臨床心理士。



講座番号

8

アレクサンドロス大王の時代

定員 / 50名

受講料 / 4,000円(全4回)

マケドニアの王子アレクサンドロスは、父フィリッポス2世の偉業を受け継ぎ、大帝国ペルシャに侵攻してこれを打ち破りました。その後、彼は歴史上初めてエジプトからインダス川流域にいたるまでの世界帝国を作り上げました。その影響はガンダーラの仏教美術を通じて我が国にまで及んでいます。この時代をヘレニズム時代と言います。そのアレクサンドロス大王の偉業の意味とこのヘレニズム時代の文化・思想を解説します。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	フィリッポス2世による ギリシャの統一 10月15日(火) 午後 13:30~15:30	ギリシャの辺境の地であったマケドニアをギリシャの強国に発展させたのはフィリッポス2世です。彼の偉業の経過と成功の秘密を探ります。
2	アレクサンドロス大王の東征 10月29日(火) 午後 13:30~15:30	フィリッポス2世の息子のアレクサンドロスは、父の偉業を受け継ぎ、歴史上最初の世界帝国を建設します。彼の東征の軌跡を解説します。
3	ヘレニズム時代の文化と科学 11月5日(火) 午後 13:30~15:30	アレクサンドロス大王が建設した多くの都市では文化と科学が開花しました。このヘレニズム時代の文化と科学の発展を概説します。
4	ヘレニズム時代の思想 11月12日(火) 午後 13:30~15:30	ヘレニズム時代には、この時代を映し出す哲学が生まれました。エピクロス派とストア派の哲学がそれです。これらの哲学を解説します。

講師 / 札幌学院大学名誉教授 奥谷 浩一

講師紹介

奥谷 浩一(おくや こういち) 1946年生まれ。北海道大学大学院文学研究科博士課程修了。現、札幌学院大学名誉教授。同大学元学長。単著に『哲学的人間学の系譜』、『ハイデガーの弁明』、『生命の共生と社会的共同の倫理学』、共著に『ヘーゲル事典』。本学コミュニティ・カレッジ講座の開講・運営に貢献。2012年北海道社会貢献賞受賞。



「アレクサンドロス大王像」



「アレクサンドロスとダリウス3世との戦い」

講座番号

9

【心理学部提供講座】
「意識とは何か…心理学者、こころをさぐる」

定員／50名

受講料／3,000円(全3回)

古来より「こころ」について考えることは、すなわち意識というものを見つめることであった。脳のしくみと機能が解き明かされ始めると、意識に関する知見は一挙に豊富になった。しかし、ますます「こころ」の謎は深まっているともいえる。本講座では、「意識」に絡む研究の一端を3名の心理学者が語り、「こころ」の深みに誘う。

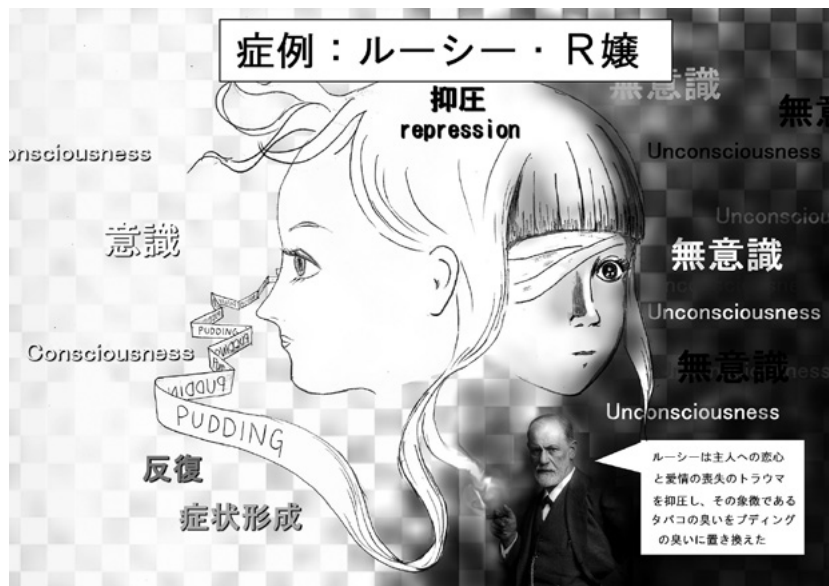
回	テーマ／講座日	内 容
1	意識を超える心理学 ～スピリチュアリズムを巡って 10月19日(土) 午後 13:30～15:30	明治43年、東大の福来友吉は「千里眼」の実験を行ない、その後東大を追われた。「心」を科学することと、そこから逃れ出るものとのせめぎ合いの中で「心理学」は確立されていったのである。本講では、「心」の見えない領域について考える。 講師／札幌学院大学心理学部教授 村澤 和多里
2	脳と覚醒 ～脳のしくみから意識を考える 10月26日(土) 午後 13:30～15:30	意識は覚醒のもとにはたらく。覚醒水準の低下とともに、意識はまどろみ眠りに落ちる。覚醒下において自己を統制しようとする意識について、脳のしくみから考える。 講師／札幌学院大学心理学部教授 室橋 春光
3	下意識の世界と催眠 ～意識の策略を超えて 11月2日(土) 午後 13:30～15:30	ものごとを自覚して意識的に思考する現代…。しかし身体と下意識は意識を超えて働いています。催眠現象をヒントに心身の健やかさを実現するあり方を探ります。(五円玉をご持参下さい) 講師／札幌学院大学心理学部教授 葛西 俊治

講師紹介

室橋 春光 (むろはし はるみつ) 1949年新潟県生まれ。北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。教育学博士、臨床心理士。認知生理心理学を基盤として障害に関わる基礎研究と臨床に従事。2017年度より現職。著書に『生理心理学と精神生理学 第3巻』(編著)「認知発達とその支援」(共著)など。

葛西 俊治 (かさい としはる) 1951年札幌市生まれ。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学(文学修士)。「こころとからだ」に関わる身体心理療法ならびにダンスセラピーの実践・研究を行う。2004年より現職。日本催眠医学心理学会会員、日本ダンス・セラピー協会副会長。著書に『行動をソフトに科学する』(単著)など。

村澤 和多里 (むらさわ わたり) 1970年三重県生まれ。北海道大学大学院博士課程満期退学。博士(教育学)、公認心理師・臨床心理士。ひきこもりの若者の支援、児童養護施設での臨床支援を研究している。2011年度より現職。著書に「中井久夫との対話」(共著)「ポストモラトリアム時代の若者たち」(共著)など。



講座番号

10

現代特別支援教育論の射程 ひきこもり<8050問題>と<生きる力>形成の課題

定員 / 50名

受講料 / 2,000円(全2回)

ひきこもり状態にある40～50代のわが子を、70～80代の親が支える世帯の深刻な現象を「8050（はちまるごーまる）問題」と呼んでいます。2019年3月、内閣府は40～64歳のひきこもり状態の人は全国に61.3万人いるとの推計を発表しました。ちなみに15～39歳も54.1万人いると推計しています（2015年度調査）。この問題の背景になにがあるのか。問題解決に接近する方途はあるのか。この問いに、特別支援教育、生涯教育の視座から迫ります。なお、各回とも講師3者の鼎談を含みます。

回	テーマ / 講座日	内 容
1	<ひきこもり問題>解決の方途としての居場所づくり —「よりどころ」の実践から見えてきたもの 11月16日(土) 午後 13:00～15:00	居場所事業「よりどころ」では、ひきこもりや生きにくさを抱える当事者たちのピアの力が発揮されていますが、さらに分け入ってピアスタッフの支援実践に光を当てます。加えて、ひきこもりの解決とは何を指すのかなど、課題解決の方途を多角的、実践的に考えていきます。 ゲストスピーカー／場面緘黙・不登校ひきこもり経験者 大橋 伸和 コーディネーター／札幌学院大学名誉教授 二通 諭、田中 敦
2	ひきこもり<8050問題>の実相と解決に向けた取り組み —キーワードは<生きる力の形成> 11月16日(土) 午後 15:20～17:20	就労経験を有するひきこもり当事者が増え、このことがひきこもりの長期高齢化に少なからず影響を与えているとの認識が広がっています。一般に就労経験はキャリアとして受け取られますが、ひきこもりでは逆にハードルになることも少なくありません。こうした中で失われた自信を取り戻す役割として、似たような仲間同士との交流を図る居場所が注目されています。「就労から居場所へ」の潮流をととしてひきこもりの今日的課題について考えていきます。 ゲストスピーカー／NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク理事長 田中 敦 コーディネーター／二通 諭、大橋 伸和

講師紹介

二通 諭（につう さとし） 1951年2月札幌市手稲町に生まれる。1974年北海道教育大学札幌分校卒業後、石狩管内小中6校で35年間の教員生活を送り、2009年から札幌学院大学教員として主に特別支援教育関連科目を担当。2019年4月より札幌学院大学名誉教授。2011年、札幌学院大学において、発達障害や精神的な困難を抱える学生の自助グループ「雑談会」を立ち上げる。近年の著書として『特別支援教育コーディネーター 必携ハンドブック』（編著：11/5/31）、『映画で学ぶ特別支援教育』（単著11/8/25）、『障害児の教育権保障と教育実践の課題 — 養護学校義務制実施に向けた取り組みに学びながら』（編著14/12/25）、『特別支援教育時代の光り輝く映画たち』（単著15/8/9）がある。連載「映画に見るリハビリテーション」（医学書院：『総合リハビリテーション』）は23年268本に達している。

田中 敦（たなか あつし） 1965年札幌市生まれ。北星学園大学大学院修了。不登校ひきこもり経験者として1999年に当NPOを立ち上げ当事者主体のピアサポート活動に取り組む。近年の主な著書として『苦勞を分かち合い希望を見出すひきこもり支援 - ひきこもり経験値を活かすピアサポート』（学苑社、2014）などがある。福祉活動の功績により社会福祉法人札幌市社会福祉協議会会長顕彰受賞（2019年）。

大橋 伸和（おおはし のぶかず） 1984年生まれ。11歳頃から24歳までの約13年間場面緘黙症となり、小中学校の不登校、高校卒業後のひきこもりを経験。様々な支援を受けながら、25歳で札幌学院大学人文学部人間科学科に入学。在学中から現在に至るまで自身の経験をもとに講演活動を行い、2018年から札幌市の集団型支援拠点「よりどころ」で支援実践を展開。近年の論稿として「場面緘黙とひきこもり—自分史をふりかえって—」（『SNE ジャーナル』24巻1号、文理閣、2018）などがある。



講座番号

11

臨床死生学／絵本・童話を通して「関係の命」を学ぶ

定員／50名

受講料／2,000円(全2回)

臨床死生学の目的とは、死者の〈痛み〉を生者の私たちが、リアルに過去を「追想」rememberし、未来を「展望」viewすることである。それをもって死者の〈痛み〉を他者と共に現在に共有し、死者の心を私たちの「魂として、共にもち続ける」(供養 care)ことである。

これらのプロセスを絵本・童話の分析を通して、「関係に生き続ける命」についての学びを深めたい。臨床死生学とは「死の影から生の輝きを学ぶ」コンセプトと言えるであろう。

回	テーマ／講座日	内 容
1	臨床死生学入門① 理論とグループ討議 10月25日(金) 午後 13:00~15:00	臨床死生学の概観を絵本『100万回生きたねこ』(佐野洋子)の分析を通して学ぶ。さらに「臨終へのシミュレーション」では、自分が「死ぬための整い」を演習する。
2	臨床死生学入門② 理論とグループ演習 10月25日(金) 午後 15:20~17:20	臨床死生学の理論を童話『きいろいばけつ』(もりやまみやこ)の分析を通して学ぶ。また受講生の状況に応じて、心理演習を試みたい。「大切な人」の死をもって、自己の〈痛み〉を癒し、関係に生きる命を模索する。

講師／日本ケア・カウンセリング協会代表理事 臨床心理士 品川 博二

講師紹介

品川 博二(しながわ ひろじ) 臨床心理士。1949年東京生まれ。早稲田大学卒業後、東京教育大学(現筑波大学)で臨床研修。磯ヶ谷病院心理室長を経て、2000年NPO法人日本ケア・カウンセリング協会設立、現在同代表理事。東京学芸大学・目白大学大学院講師、横浜地裁の精神鑑定人および聖路加国際病院精神腫瘍科臨床心理士を歴任。著作に『アマデウス・シンドローム』、『死別から共存の心理学』他多数。

講座番号

12

『来年の世界経済の展望とマネープランへの影響』 ～新冷戦時代の米中経済と日本経済の課題～

定員／50名

受講料／2,000円(全2回)

対中貿易赤字の削減に端を発した米中摩擦は、いまや貿易戦争と表現されています。トランプ大統領と習近平主席の首脳会談やその発言内容に金融市場は一喜一憂しています。しかし、問題の本質は、先端技術の覇権争いが底流にある政治的・経済的・軍事的主導権争いであり、両首脳の握手で収まるものではありません。世界と日本経済の定点観測を始めて20年、いつかまた来る危機や経済混乱に備えた堅実なマネープランを研究します。

回	テーマ／講座日	内 容
1	東京五輪後の日本経済は？ 11月9日(土) 午前 10:00~12:00	米中冷戦時代の幕が開き、米欧の溝は広がり、次の危機に世界が協調できるか懸念されます。日本経済は依然として停滞していますが、金融緩和政策も限界が近づいています。今後の資産運用上のリスクを確認します。
2	今後もやはり 『長期国際積立分散投資』 11月9日(土) 午後 13:00~15:00	人生100年時代に不安山積の日本人。今夏注目された金融庁報告書の「老後資金2,000万円問題」は国民の意識を覚醒させました。金融商品を知って少額でも始めないと取り残されます。『行動なくして理論なし』です。

講師／札幌学院大学大学院非常勤講師 白根 壽晴

講師紹介

白根 壽晴(しらね としはる) 1954年東京都生まれ。早稲田大学法学部を卒業後、住友電気工業㈱を経て税理士登録。97年にエフピーインテリジェンス設立。現、代表取締役。ライフプランに基づくコンサルティングや執筆、大学や金融機関での講演活動など幅広く活躍。資産運用アドバイスに強いFPとして定評がある。『オーナー社長の資産戦略と実務』『定年後のお金全疑問45』など著書も多数。日本FP協会理事 長 CFP®・税理士。

市民セミナー

講座番号

13

フットパスを知ろう!歩こう!

定員/40名

受講料/2,100円(全2回)

今、日本中でフットパスの輪が広がっています。フットパスとは英国発祥の「歩行専用路」と日本語には置き換えることができるでしょう。北海道では「フットパス(歩く文化)」が生まれてから20年近く経ちました。全国に先駆けて広まった北海道。フットパスの解説だけではなく、実際に札幌近郊のフットパスも歩く実践的な講座です。

回	テーマ/講座日	内容
1	北海道、日本で広がるフットパス 10月3日(木) 午後 13:30~15:30	フットパスとは?そして日本、北海道各地ではどのようなフットパスがあるのか?石狩や空知、後志など札幌近郊での活動を具体例に写真等を用いてご紹介します。
2	フットパスウォーク【南幌周回】 集合場所:南幌ビューロー *雨天決行 10月12日(土) 10:00~14:00(予定)	南幌町のフットパスを実際に歩きます。田園地帯、幌向運河など食と歴史とフットパスがうまく組み合わさったルートを実際に歩きます。 南幌ビューローを起点に、終点は南幌温泉の約10kmを歩きます。

*フットパスウォークの時間・集合場所は予定です(受講者に後日送付する案内でご確認ください)。
(参加条件)健康で3~4時間歩ける方。

講師/株式会社ジオ代表取締役 小川 浩一郎

講師紹介

小川 浩一郎(おがわ こういちろう) 1980年生まれ。株式会社ジオ代表取締役。北海道科学大学客員准教授。各地でフットパスの普及活動、イベント開催、プロデュース等を行っている。著書『北海道フットパスガイド①』『北海道フットパスガイド②』

講座番号

14

デジタル一眼レフ写真講座~中上級編~
—炭鉱遺産を訪ねて—

定員/30名

受講料/5,400円(バス代・入館料含む)(全2回)

デジタル一眼レフカメラの操作などの機能的な部分ではなく、写真を通じてどう自己発信をしていくのかということをお学んでいきます。

「表現としての写真」は、題材から自分が何をどう感じ、その感じたものを写真としてどう表現するか、ということです。今回は、かつてそこに無数の人生と物語があった炭鉱遺産を訪ね、そこで受講者は何を感じ、それを写真としてどう表現するか、という実習を行います。次に受講者それぞれの作品を見ながら多彩な写真表現のあり方を講師とともに学びます。

回	テーマ/講座日	内容
1	写真を通じた多彩な表現を学びます 集合場所:札幌学院大学 10月5日(土) 9:00~16:00(予定)	北海道の近代化を牽引した《炭鉄港》の構成施設である赤平市炭鉱遺産ガイドダンス施設(旧住友赤平炭鉱立坑)を訪ね、実際に炭鉱で働いていた方から当時の様子や施設についてガイドダンスを受けた後に写真の撮影を行います。 その後、施設から移動し、その当時の木造校舎などの学び舎を利用して造られた安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄を訪れ、写真の撮影を行います。
2	撮影解説~撮影をふりかえる~ 10月19日(土) 午後 13:30~15:30	受講生の皆さんが撮影したものを、モニターを見ながら直接アドバイスします。具体的にどのように撮影したらよりよくなるかを一緒に考えていきます。前回の撮影を通して今回の講座で得たものを発表していきます。

※撮影実習の時間、集合場所は予定です。(受講者に後日送付する案内でご確認ください)

講師/公益社団法人日本写真家協会会員 日本旅行写真家協会会員 NPO 法人北海道を発信する写真家ネットワーク会員 浅野 久男

講師紹介

浅野 久男(あさの ひさお) 1963年生まれ。札幌学院大学卒業後、写真撮影会社を経て2007年エムフォトワークス設立。北海道を中心に、旅と風景を題材とした撮影活動を続ける。高校や札幌市生涯学習財団などで写真講座を担当する。洞爺湖サミット(2008年7月開催)の際に各国首脳に寄贈された、記念写真総集『北海道北の記憶』にも作品が掲載されるなど幅広く活動している。写真展も数多く開催。札幌市写真文化振興事業・東川町国際フォトフェスティバル企画委員など「芸術と街づくり」などの活動も続けてきた。公益社団法人日本写真家協会会員、公益社団法人日本写真協会会員、日本旅行写真家協会正会員。
ブログ「旅する写真家浅野久男写真通信」http://blog.livedoor.jp/asano_hisao/

講座番号

15

もしも病気になったら ～シニア世代の知っておきたい制度の話～

定員／50名

受講料／3,000円(全3回)

突然の病気や怪我…あなたはどのような悩みを抱えますか？多くの方は、療養にかかる経済的な負担に悩むことでしょう。また、後遺障害があると、住宅の改修や各種の介護サービスの利用などのために、難解な手続きに追われて身も心も疲れてしまいます。そんな時の手助けとなるのがソーシャルワーカーです。本講座では、病気になった時、安心して療養するために必要な制度や病院の賢い使い方についてソーシャルワーカーが解説します。皆さまの具体的な事例をもとに解説を行います。

回	テーマ／講座日	内 容
1	もしも病気になったら ～直面する課題を考える～ 10月16日(水) 午後 13:30～15:30	病気になると、どのような課題に直面するのでしょうか。そして、その課題に私たちはどう向き合うべきなのでしょう。また病院を選ぶときは何を基準に選ぶでしょうか。医師の評判や外観のよさでしょうか。病院には制度上設けられた固有の機能があるのでそうした面から病院を選ぶことも重要です。病気になるということ、身近に起こり得る事例を通して考え、課題への対処方法を探ります。
2	知っておきたい健康保険 10月23日(水) 午後 13:30～15:30	健康保険制度は適切な医療を、経済的な負担を軽減しながら受けることのできる重要な制度です。ここでは、医療費で損をしないための、知って得する制度の賢い使い方について事例を通して学びます。
3	知っておきたい介護保険 10月30日(水) 午後 13:30～15:30	いつまでも住み慣れた環境で生活することを考えた時、必要に応じて介護サービスを利用する必要があるかもしれません。サービスを有効に利用するためのポイントをサービス利用事例を通して学びます。

講師／小樽中央病院 地域医療福祉連携室長 石田 潔

講師
紹介

石田 潔(いしだ きよし) 1978年生まれ。小樽中央病院地域医療福祉連携室長。社会福祉士。医療ソーシャルワーカー。札幌学院大学大学院地域社会マネジメント研究科修士課程・北星学園大学大学院社会学部社会学研究科修士課程修了。公職は一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会理事・おたる地域包括ビジョン協議会委員等。



お申し込みから受講までの流れ

①【申込期間】

8月22日(木)～9月10日(火)必着

※応募者多数の場合は、抽選となります。
 ※受講希望者が開講予定人数に満たない場合は、開講しないことがあります。

②【申込方法】

申込は、①インターネット ②FAX ③ハガキでのいずれかになります。※電話による申込はできません。

- ①インターネットの場合 …… <http://www.sgu.ac.jp/rcc>
- ②FAXの場合 …… FAX番号:011-375-8910
- ③ハガキの場合 …… あて先:〒069-8555 江別市文京台11番地
 札幌学院大学社会連携センター「コミュニティ・カレッジ」係

③【結果通知】

9月18日(水)以降に申込者全員に封書で通知いたします。

※受講いただける方には、「受講確定通知書」と「受講料の振込み用紙」をお送りいたします。
 ※応募者多数の場合の抽選結果(受講できない場合)は、封書でお知らせいたします。
 (抽選では、はじめての方を優先する場合がありますので、ご承知下さい。)
 ※受講者が予定人数に満たず、開講できない場合は、講座中止のお知らせをお送りいたします。
 ※9月25日(水)までに受講に関する通知が届かない場合は、お問い合わせ下さい。

④【受講料の支払方法・受講確定】

受講料は、「受講確定通知書」に記載された金額をゆうちょ銀行または北洋銀行の口座にお振込みください。受講料の振込みによって正式に受講確定とさせていただきます。振込みが確認できない場合は受講できませんので、指定された期日までに必ずお振込みください。振込みの控えは、講座が終了するまで大切に保管してください。

⑤【開講日・受講上の注意】

「受講確定通知書」に、講座の開始日が記載されています。講座開始日に札幌学院大学1号館2階社会連携センター受付にお越しください。

受講料をお振込みいただいた方には、あらかじめ開講日のご案内はいたしませんのでご承知願います。

各講座の全日程は、パンフレットあるいは本学社会連携センターのホームページにてご覧下さい。

※お子様連れでの受講はご遠慮ください。

※駐車場利用希望者はお申し込みの際に明記してください。

○開講場所:江別市文京台11番地 札幌学院大学 1号館

○講座当日は、札幌学院大学 1号館2階 社会連携センターにて受付を行います。

【キャンセルに関して】

原則としてキャンセルはできません。ただし、やむを得ない事情によりキャンセルを希望する場合は、「受講確定通知書」に記載された受講料支払期限までに必ずご連絡下さい。【TEL:(代表)011-386-8111 コミュニティカレッジ係】

お支払いいただいた受講料は、返金できかねますのでご了承下さい。

お申し込み前に必ずお読み下さい。 ●受付時間/9時～17時(月～金)

- 申込者以外の方は受講できません。
- 本学「コミュニティ・カレッジ」の講座は、「道民カレッジ」及び「えべつ市民カレッジ」と連携しております。
- 道民カレッジは原則として7割以上の出席で単位認定します。(ただし7割に満たない場合は出席時間数での単位認定です)
- 受講生は自動的に「コミュニティ・カレッジ」の会員として登録されます。
- 都合により担当講師が変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 札幌学院大学図書館の利用(閲覧・貸出)ができます。
- 札幌学院大学(その前身の札幌文科専門学院、札幌短期大学、札幌商科大学を含む)の在学生、同窓生ご本人と、在学生の保護者の方々には、受講料特別割引制度があります(ただし、教材費、バス代などは除きます)。その旨、お申し込み時に明示してください。お申し込み時に明示なき場合は、割引制度をご利用いただけません。(外国語講座と資格対策関係講座は2割引、それ以外の講座は5割引で受講できます。)
- ご提供いただきました個人情報は、今後の講座や札幌学院大学のイベント等をご案内する目的以外には使用いたしません。

お申し込み方法

1. ハガキ・FAXによるお申し込みは、◎に示す項目を記載のうえ、下記あて先にお送りください。

宛先 [ハガキ] 〒069-8555 江別市文京台11番地
 札幌学院大学社会連携センター「コミュニティ・カレッジ」係
 [FAX] FAX番号 011-375-8910

◎ハガキ・FAX用紙に記載する事項は下記の全ての項目です。なお、記入漏れなどがあると受付処理等が出来ませんのでご注意ください。お間違のないようご記入願います。
 ※第2・第3希望のお申し込みは受付けておりません。
 ※駐車場利用を希望される方は、必ずご記入願います。

〈はがき用切り取り線〉

講座番号	講座名 (※複数記入可)	
フリガナ		
氏名		
〒	—	電話番号 ()
住所		
年齢	歳	職業
駐車場利用希望	する ・ しない	
コミュニティ・カレッジを受講したことがありますか	はい or いいえ	
同窓生本人	卒業年()年()学部	旧姓()
在学生の保護者	在学生氏名 ()学部 ()年	
在学生本人	学籍番号()	
コミュニティ・カレッジ講座を何で知りましたか？(○をつけてください)		
①本学の案内 ②区役所、区民センター ③図書館 ④道民カレッジ		
⑤友人・知人 ⑥インターネット		
⑦その他()		

2. ホームページから申し込む場合はこちらからお申し込み下さい <http://www.sgu.ac.jp/rcc/>

心理臨床センター相談室のご案内

皆さまからのご相談をお待ちしております。また、ご本人だけではなく、ご家族や周りの方、学校の先生方もお気軽にご相談ください。

相談の例

- 学校に行けない・行かない
- ひきこもり
- 反抗・暴力など
- 友人関係や職場での人間関係
- 子どもとの接し方

詳細はお電話でお問い合わせいただくか、本学心理臨床センターHP (<http://www.sgu.ac.jp/sgucpc/>) をご覧になってください。

■心理臨床センターのお問い合わせ先

札幌学院大学 心理臨床センターまで
TEL 011-386-9794
(直通・月～土曜日 10:00～16:00)

札幌学院大学大学院(修士課程)のご案内

地域社会 マネジメント 研究科	夜間・土曜授業、札幌都心の大通サテライト教室などの働きながら学べる環境を有し、地域社会の諸課題を研究対象とし、地域・まちづくり系分野、地域・経営・経済分野及び地域会計分野等のそれぞれの分野でスペシャリストとして活躍し得る人材養成を目的としています。CFP [®] 受験資格を得ることも可能です。
法 研 究 科	法学を中心に隣接諸科学の研究成果を総合して、鋭い人権感覚と豊かな国際感覚を備えた、地域社会に貢献できる人材及び高度な専門知識と能力を備えた専門的職業人を養成することを目的としています。税理士資格とCFP [®] 受験資格の取得もサポートしています。
臨床心理学 研 究 科	臨床心理学を中心に心理臨床に関連する諸分野との連携を得ながら、様々な心の問題を心理臨床の視点から取り上げ、公認心理師及び臨床心理士という専門的職業人を養成することを目的としています。道内初の臨床心理士資格認定協会一種認定校としての実績を有しています。

その他、編入学試験制度、社会人入学試験制度、科目等履修生制度、聴講生制度、研究生制度等があります。詳細についてはお問い合わせください。

〒069-8555 江別市文京台11番地 TEL:011-386-8111(代) <http://www.sgu.ac.jp>

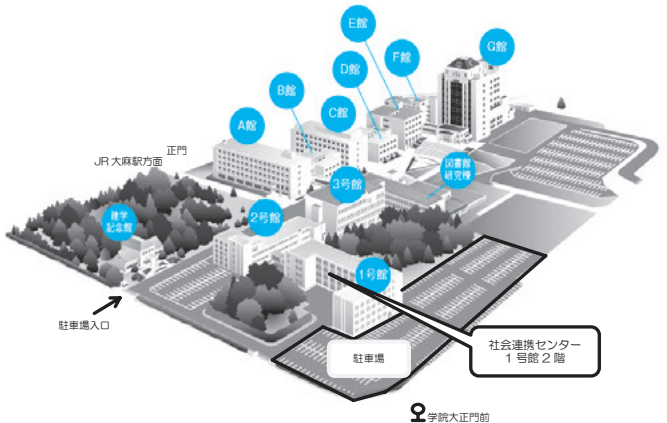
交通アクセス

■JR 利用の場合

- 札幌駅(江別、岩見沢方面)発⇒大麻駅下車
所要時間：快速 12分+徒歩 10分

■バス利用の場合(新札幌バスターミナルから)

- (JRバス・夕鉄バス)⇒学院大正門前
または北翔大学：札幌学院大学前下車
所要時間：乗車約 10分+徒歩 1～3分
- JRバス/10番乗り場
- 夕鉄バス/12番乗り場



社会連携センター
コミュニティ・カレッジ
会場案内

〒069-08555
江別市文京台11番地
札幌学院大学 1号館2階

●コミュニティ・カレッジのお問い合わせ先●

札幌学院大学社会連携センター
ホームページ <http://www.sgu.ac.jp/rcc>

TEL 011-386-8111(代表)
FAX 011-375-8910
受付時間/9:00～17:00(月～金)